

当社では、決算のご報告として株主通信を年2回発行しております。

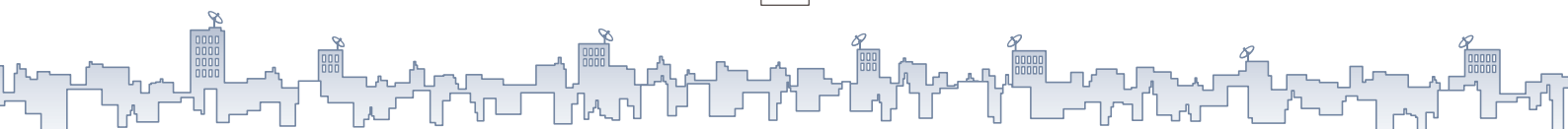
また、第1、第3四半期の業績概況は「WEB版株主通信」としてウェブサイト上でお伝えいたします。

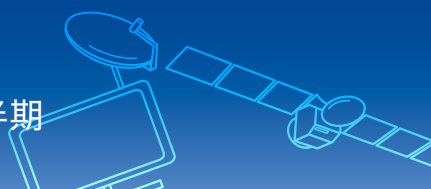


2012年3月期 第3四半期 株主通信

2011年4月1日～2011年12月31日

- 社長メッセージ
- 連結財務ハイライトと第3四半期決算のポイント
- トピックス
- スカパー！サービスのご案内





社長メッセージ

**有料多チャンネル事業、宇宙・衛星事業ともに順調に収益が拡大。
中期経営計画の早期達成を目指します。**

株主の皆様には平素より格別のご高配・ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当第3四半期は、有料多チャンネル事業における「スカパー！e2」の加入件数拡大や宇宙・衛星事業における災害対策向けサービスの需要拡大などにより、両事業とも順調に収益が拡大し前年同期比で増収増益とすることができました。

有料多チャンネル事業では、2011年7月の地上アナログ放送の終了（岩手、宮城、福島を除く）に伴いデジタルテレビがほぼ全世帯に普及したことや、2011年10月にBSデジタル放送のチャンネル数が24チャンネルに倍増し、スカパー！多チャンネルサービスのショーケースとなる「BSスカパー！」開局の効果もあり、「スカパー！e2」を中心に過去最高の新規加入件数を獲得することができました。2012年3月にはBS放送の31チャンネルへの拡大が予定されていますが、これを来期の更なる飛躍への礎とすべく「スカパー！e2」を主軸に加入促進を推し進めます。また、標準画質の「スカパー！」（MPEG2方式）からハイビジョン放送サービス「スカパー！HD」（H.264方式）への移行も積極的に推進して参ります。また、成長するスマートフォンやタブレット市場をにらみ、「スカパー！オンデマンド」や「テレコ！」といったお客様の利便性を高めるサービスも拡大してまいります。

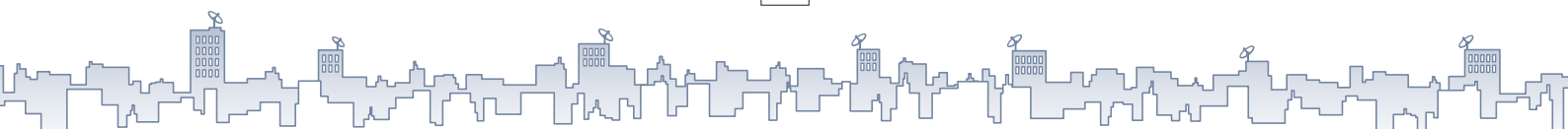
宇宙・衛星事業に関しては、災害時の衛星通信の強みが改めて見直され、企業・官公庁による非常用通信手段確保に向けた衛星通信サービスの導入が広がっています。当社ではこれら個々のニーズにきめ細かく対応し、「つながる」安心の確保に努めています。また、グローバル事業の拡充については、東南アジアやロシアをはじめとする地域での衛星需要の拡大を積極的に取り込むため、フリート体制、サービス、営業拠点などの拡充・整備を図り海外事業展開の橋頭堡づくりを進めています。

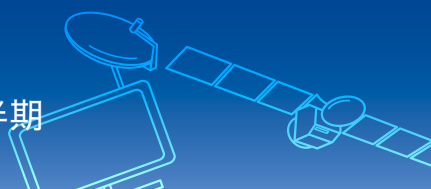
放送、通信を取り巻く環境は激しく変化し続けています。来期に向けて一層気を引き締め、全社員一丸となって中期経営計画の早期実現に向けて邁進する所存です。

引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2012年2月
代表取締役社長

高田真治





連結財務ハイライトと第3四半期決算のポイント

● 連結財務ハイライト

(単位：百万円)	第3四半期 (4/1 ~ 12/31)		前年同四半期比 (%)	2011年3月期 (実績)	2012年3月期 (予想)
	2011年3月期	2012年3月期			
営業収益	105,551	115,904	109.8%	141,850	152,000
営業利益	8,637	14,763	170.9%	13,503	15,500
経常利益	7,433	13,984	188.1%	12,394	14,500
当期純利益	2,694	7,012	260.3%	4,421	8,000
EBITDA	25,279	33,247	131.5%	35,256	—

※ EBITDA は当期純利益 + 税金費用 + 減価償却費 + 支払利息にて算出しています。

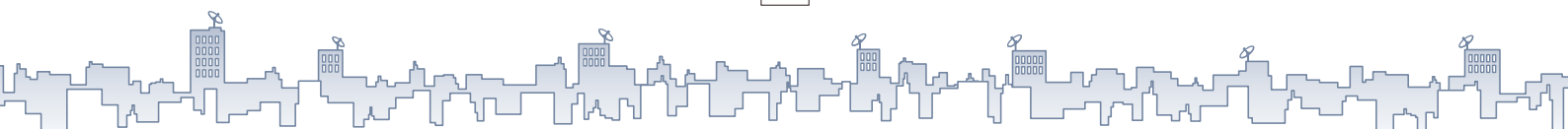
● セグメントハイライト (新区分)

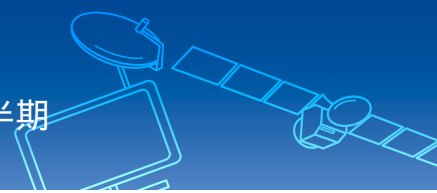
		2011年3月期第3四半期 (4/1 ~ 12/31)		2012年3月期第3四半期 (4/1 ~ 12/31)	
		金額 (単位：百万円)	構成比 (%)	金額 (単位：百万円)	構成比 (%)
営業収益	有料多チャンネル事業	72,891	64.8%	81,024	65.3%
	宇宙・衛星事業	39,511	35.2%	43,082	34.7%
	単純合計	112,403	100.0%	124,106	100.0%
	消去又は全社	△6,852	—	△8,202	—
	合計	105,551	—	115,904	—
営業利益	有料多チャンネル事業	△3,198	—	178	1.2%
	宇宙・衛星事業	12,378	—	15,105	98.8%
	単純合計	9,179	—	15,283	100.0%
	消去又は全社	△542	—	△520	—
	合計	8,637	—	14,763	—

※ 2012年3月期より、当社は各事業におけるマネジメント責任を明確にし、事業セグメントごとの採算性追求と衛星関連資産の一元管理による利益構造の改善を図るために、事業セグメントの資産区分および損益の算定方法を変更しました。また、従来の「衛星事業」という名称も「宇宙・衛星事業」に変更いたしました。なお、2011年3月期の数値は新セグメント基準に基づき再集計した数値です。

● 営業データ

	2011年3月末	2011年12月末
有料多チャンネル累計加入件数	372.5万件	377.5万件
保有衛星数	14機	15機





● 第3四半期決算のポイント

● 損益の状況

当第3四半期は増収増益となり、利益面では前年同期を大きく上回る結果となりました。

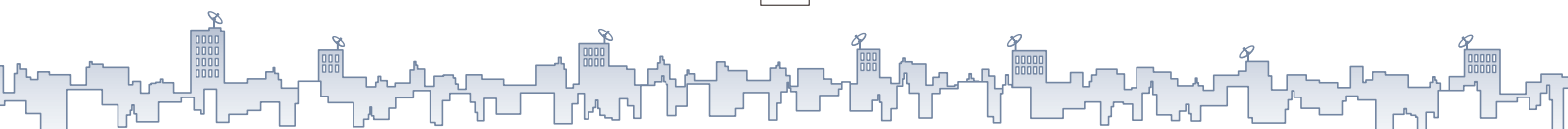
有料多チャンネル事業では「スカパー！ e2」を中心とする加入件数の拡大や、視聴料が全額収益となる「スカパー！ HD」への加入者移行の効果、そして宇宙・衛星事業では事業継続計画 (BCP)・災害対策向けサービスの需要増加が増収要因となり、営業収益は前年同期比9.8%増の115,904百万円となりました。一方、損益面では「スカパー！ HD」への移行に伴い番組調達費や10月からスタートした「BSスカパー！」関連費用が増加したものの、FIFA ワールドカップ南アフリカ大会関連費用を計上した前年同期と比較し営業利益は70.9%増加の14,763百万円となりました。同様に経常利益は前年同期比88.1%増加の13,984百万円、四半期純利益は前年同期比160.3%増加の7,012百万円となりました。

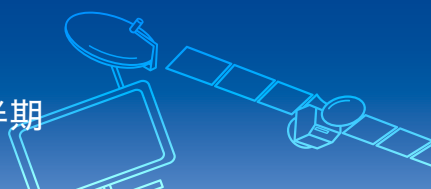
● 加入件数の推移

新規加入件数は、特に地上デジタル放送への移行により視聴可能世帯が増加した「スカパー！ e2」が順調に拡大し、第3四半期累計期間としては過去最高の504千件（前年同期比20.1%増）となりました。また、標準画質の「スカパー！」からハイビジョン画質の「スカパー！ HD」への加入者移行も堅調に推移しハイビジョン化率（「スカパー！」および「スカパー！ HD」の累計加入件数に占める「スカパー！ HD」の比率）は28.1%と前期末から8.9ポイント増加しました。一方、解約件数は501千件、加入件数の純増は49千件でした。これらの結果、第3四半期末の累計加入件数は3,775千件となりました。

● 通期業績の見通し

2012年3月期は、第3四半期の時点で営業利益、経常利益ともに通期業績予想に対する達成率が90%を超えましたが、第4四半期には2012年3月に予定されているBS放送の第2期チャンネル拡大に向けた販促キャンペーンや、「スカパー！ HD」への移行促進施策の費用投入などを予定しています。これらを考慮し、昨年11月2日に修正した通期の見通しを据え置き、営業収益152,000百万円、営業利益15,500百万円、経常利益14,500百万円、当期純利益8,000百万円を見込んでいます。なお、新規加入件数の目標は608千件、純増数の目標は53千件と、当初計画から変更しておりません。





トピックス

● 有料多チャンネル事業

● 3月1日、BSに新たに6チャンネル(有料)が開局。「スカパー！e2」の番組がさらに充実します。

2011年10月のBS放送のチャンネル拡大に伴い、「スカパー！e2」のチャンネルラインアップに新たにBSチャンネルが加わりました。当社も「BSスカパー！」を開局し、充実したオリジナルコンテンツに加えCS放送で人気の多彩なジャンルの番組を放送しています。「BSスカパー！1年間無料キャンペーン(2012年9月30日まで)」により、新規加入者獲得に向けた販促活動を展開していきます。

また、2012年3月にはBS放送の第2期チャンネル拡大として有料6チャンネルが開局し31チャンネル体制になります。これを「スカパー！e2」の新規加入拡大の機会と捉え、各種キャンペーンを積極的に展開しています。具体的には、3月1日(木)から3月11日(日)まで「スカパー！e2 11日間無料放送」を実施します。さらに、2月25日(土)から3月11日(日)まで「BSスカパー！」にて「BSスカパー！春の特番祭り2012」を実施し、より多くの皆様にスカパー！の楽しさを体験していただけるよう努めています。

BS6チャンネル開局記念 BSスカパー！



スカパー！の楽しさをもっと2みんなに。

<http://www.bs-sptv.com/spring2012/>

● 「スカパー！オンデマンド」が本格スタート。コンセプトは“Buy once, watch anywhere!”

2011年10月からサービスを開始した「スカパー！オンデマンド」。2012年2月からはテレビ向けの配信もスタートしました。スカパー！の多彩なジャンル・豊富な番組を、インターネットを通じてテレビ、パソコン、タブレット、スマートフォンなど、多様な端末で、“いつでもどこでも”視聴できます。基本料金は不要で、月額プラン(SVOD)、単話/複数話/全話販売(PPV)、無料番組などを提供しています。

また、3月1日には、スカパー！のJリーグ系セットをご契約頂ければ、スマートフォンやタブレット、パソコンで「スカパー！JリーグLIVE」をいつでもどこでも無料で視聴いただける「どこでもJリーグLIVEキャンペーン」を開始します。

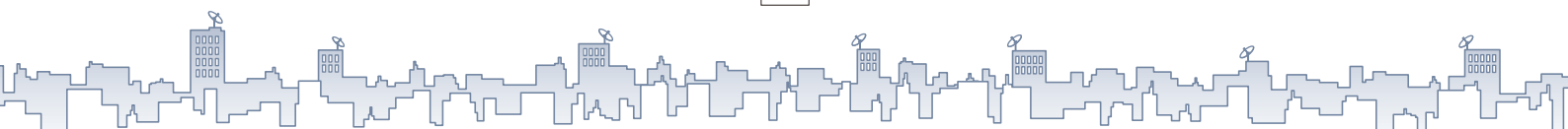


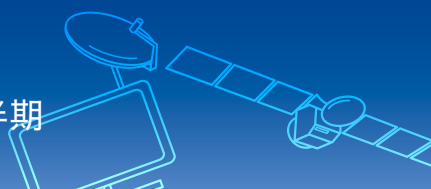
キャンペーン期間

Jリーグ2012シーズン(2012年3月1日～2012年12月31日契約分)

キャンペーン概要

キャンペーン対象のJリーグ系セット契約者は「スカパー！JリーグLIVE」がキャンペーン価格0円/月。(通常315円/月)





● 宇宙・衛星事業

● 「Horizons-2」の軌道位置を変更し、ロシアをカバー地域に。

「Horizons-2」は、当社子会社の JSAT International Inc. と Intelsat 社が共同で保有している通信衛星で、Kuバンドのトランスポンダ（衛星中継器）を20本搭載しています。グローバルビジネス拡大の一環として、経済発展に伴う衛星需要の拡大が見込まれているロシアおよびその周辺地域での需要取込に対応すべく、「Horizons-2」を北米／カリブ海沿岸をカバーする西経74度からロシアをカバーする東経85度に変更します。軌道位置の変更は既に完了し、2012年2月から運用を開始しております。



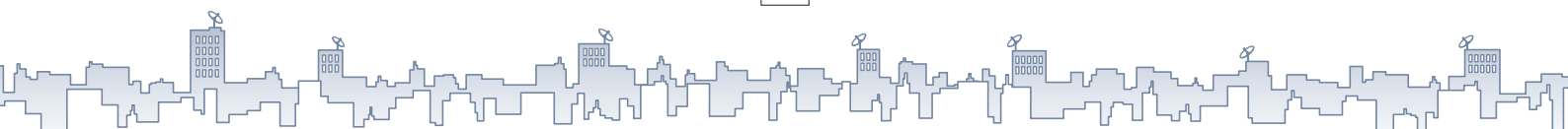
Horizons-2

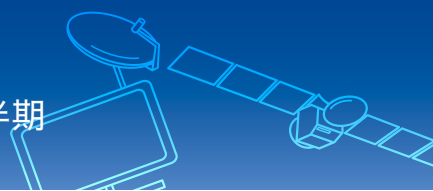
● 東南アジアでの需要拡大を見据え、「JCSAT-13」を打ち上げ。



JCSAT-13

当社は2012年4月から6月の期間に、通信衛星「JCSAT-13」を打ち上げる予定です。「JCSAT-13」はKuバンドのトランスポンダ（衛星中継器）を44本搭載しており、CSデジタル放送「スカパー！」を提供する「JCSAT-4A」（東経124度）の後継機であるとともに、日本に加え、中近東、アジア、オセアニアを広域にカバーする通信衛星です。特にインドネシアをはじめとする東南アジアは衛星需要の伸びが期待されている地域であり、これらの地域での衛星放送、ブロードバンド通信基幹網、緊急回線、デジタル・ディバイド地域の通信回線などの提供に注力し、グローバルビジネスのさらなる拡大に努める方針です。





スカパー！サービスのご案内

● イチオシコンテンツ

- スカパー！なら、豊富なジャンルとチャンネル数から見たい番組を楽しめます！

毎月「This Month Pick Up! Program 今月のイチオシ」と題し、おすすめ番組をご案内しています。
下の各ジャンルのアイコンをクリックすると番組紹介ページをご覧ください。

各ジャンルのイチオシ!!

▶ 映画
MOVIES

▶ ドラマ
DRAMAS

▶ スポーツ
SPORTS

▶ 音楽
MUSIC

▶ アニメ
ANIMATION

▶ ニュース・ドキュメンタリー
NEWS/DOCUMENTARIES

▶ 趣味・エンターテインメント
HOBBIES/ENTERTAINMENT

▶ 教育
EDUCATION

